

目 次

ジャンル別

1	基礎工学 [1]	3	25	サスペンション [2]	51
	[軸重]			[電子制御式エア・サスペンション]	
2	基礎工学 [2]	5	26	ステアリング装置	53
	[駆動輪の回転速度] [総減速比とギヤ位置] 他			[ロータリ・バルブ式パワー・ステアリング] 他	
3	基礎工学 [3]	7	27	ホイール&タイヤ [1]	55
	[電気回路]			[軽合金ホイール] [タイヤの特性等] 他	
4	基礎工学 [4]	9	28	ホイール&タイヤ [2] /	
	[電気回路]			ホイール・アライメント	57
5	基礎工学 [5]	11		[大型トラック・バスの車輪] 他	
	[油圧式ブレーキ]		29	ブレーキ装置 [1]	59
6	基礎工学 [6]	13		[エア・油圧式ブレーキ] 他	
	[自動車の材料] [合成樹脂と複合材] [燃料] 他		30	ブレーキ装置 [2]	61
7	基礎工学 [7]	15		[リレー・バルブ] [補助ブレーキ]	
	[性能] [測定器具及び工具] [検査用機器]		31	フレーム及びボデー	63
8	総 論 [1]	17		[フレーム及びボデー]	
	[排気ガス]		32	電気装置 [1]	65
9	総 論 [2]	19		[計器] [警報装置]	
	[ジーゼル・ノック] [燃焼過程]		33	電気装置 [2]	67
10	エンジン本体 [1]	21		[警報装置] [外部診断器] 他	
	[ピストン・リング (異常現象)] 他		34	電気装置 [3]	69
11	エンジン本体 [2]	23		[冷房装置 (冷凍サイクル等)] 他	
	[クランクシャフト] [バルブ・スプリング] 他		35	電気装置 [4]	71
12	エンジン本体 [3]	25		[CAN通信] [ワイヤ・ハーネスの点検] 他	
	[バルブ・タイミング]		36	電気装置 [5]	73
13	エンジン本体 [4]	27		[安全装置] [バッテリーの容量] 他	
	[バルブ・タイミング] 他		37	電気装置 [6]	75
14	潤滑装置/冷却装置 [1]	29		[スタータのマグネット・スイッチの点検] 他	
	[油圧の制御] [ファン・クラッチ] [電動ファン]		38	電気装置 [7]	77
15	冷却装置 [2]	31		[予熱装置]	
	[電動ファン]		39	法 令 [1]	79
16	燃料装置 [1]	33		[自動車の種別] [登録制度] [検査制度] 他	
	[サプライ・ポンプ]		40	法 令 [2]	81
17	燃料装置 [2]	35		[認証制度 (特定整備記録簿等)] 他	
	[サプライ・ポンプ] [インジェクタ]		41	法 令 [3]	83
18	燃料装置 [3]	37		[車体構造] [燃料装置] [突入防止装置] 他	
	[センサ] [ECU]		42	法 令 [4]	85
19	燃料装置 [4]	39		[前照灯等] [前方・側方の灯火]	
	[ECU]		43	法 令 [5]	87
20	燃料装置 [5]	41		[後方の灯火]	
	[ユニット・インジェクタ式高压燃料噴射装置]			[非常信号用具・自動運行装置・運行記録計]	
21	吸排気装置	43	模擬試験		
	[ターボ・チャージャ] [排気ガス後処理装置]		44	模擬試験 第1回	89
22	動力伝達装置 [1]	45	45	模擬試験 第2回	97
	[クラッチ] [トルク・コンバータ] 他		46	模擬試験 第3回	105
23	動力伝達装置 [2]	47	47	模擬試験 第4回	113
	[AT安全装置] [自動変速線図] 他		48	模擬試験 第5回	121
24	サスペンション [1]	49	49	模擬試験 第6回	129
	[ばね特性線図] [ボデーの揺動] 他		■ 正解一覧		137

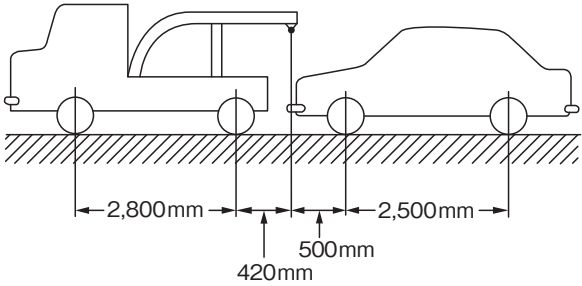
1 基礎工学 [1]	番号	氏名	問 / 6 問 2D
---------------------	----	----	-------------------

■ [軸重] ▶ 問解 第1章 基礎工学 2. 計算問題 **2** 軸重 [2]

【1】図に示す方法によりレッカー車で乗用車をつり上げたときにおけるレッカー車の後軸荷重として、適切なものは次のうちどれか。なお、レッカー車及び乗用車の諸元は表のとおりとし、つり上げによる重心の移動はないものとする。[R6.10]

	空車時前軸荷重	空車時後軸荷重
レッカー車	950 N	700 N
乗用車	600 N	350 N

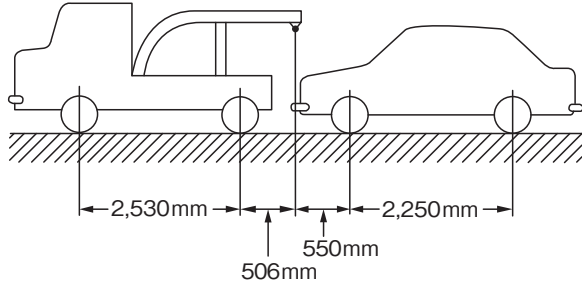
- ☒ 1. 575 N
 2. 1,200 N
 3. 1,275 N
 4. 1,300 N



【2】図に示す方法によりレッカー車で乗用車をつり上げたときにおけるレッカー車の後軸荷重として、適切なものは次のうちどれか。なお、レッカー車及び乗用車の諸元は表のとおりとし、つり上げによる重心の移動はないものとする。[R5.3]

	空車時前軸荷重	空車時後軸荷重
レッカー車	440 N	610 N
乗用車	560 N	470 N

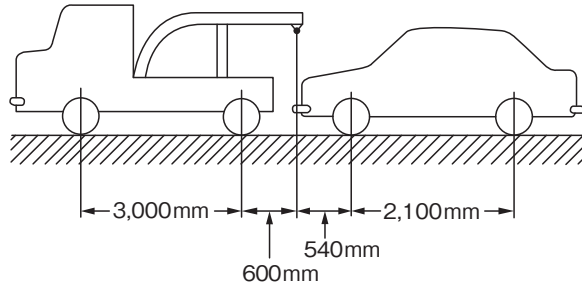
- ☒ 1. 540 N
 2. 1,050 N
 3. 1,060 N
 4. 1,150 N



【3】図に示す方法によりレッカー車で乗用車をつり上げたときにおけるレッカー車の後軸荷重として、適切なものは次のうちどれか。なお、レッカー車及び乗用車の諸元は表のとおりとし、つり上げによる重心の移動はないものとする。[R3.10]

	空車時前軸荷重	空車時後軸荷重
レッカー車	12,000 N	5,000 N
乗用車	5,500 N	4,300 N

- ☒ 1. 9,375 N
 2. 9,800 N
 3. 10,250 N
 4. 10,500 N



8 総 論 [1]	番号	氏名	問／8問 2D
--------------------	----	----	----------------

■ [排気ガス] ▶ 問解 第2章 エンジン 6. 燃焼&故障原因探究 **1** 排気ガス

【1】 ジーゼル・エンジンの排出ガスに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか**。[R7.3/R5.10/R4.3]

- ☐ 1. ジーゼル・エンジンでは、十分な空気の中で燃焼が行われるため、SOF（可溶有機成分）の発生は極めて少ない。
2. 多弁化や燃焼室形状の改良などにより、充填効率の向上や、燃料と空気の混合を最適にすることで燃焼改善を図りPMの発生を低減している。
3. 一般に高負荷時に発生する黒煙は、部分的に気化不十分となった燃料粒が高温の燃焼火炎にさらされて、燃料中の炭素が分離して、排出されたものである。
4. EGR装置では、排気ガスの一部をインテーク・マニホールドへ再循環させてNO_xを低減しているが、急に黒煙が多くなった場合は、一因としてEGRバルブの故障が考えられる。

【2】 ジーゼル・エンジンの排出ガスに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか**。[R6.10]

- ☐ 1. ジーゼル・エンジンは、空気過剰率が大きく、空気を十分に供給して燃焼が行われるため、COの発生は極めて少ない。
2. 一般にSOF（可溶有機成分）は、燃料中の硫黄分が酸化して生成された硫黄化合物である。
3. 排気管から排出されるNO_xは、燃料が不完全燃焼して、未燃焼ガスがそのまま排出されたものである。
4. コモンレール式高圧燃料噴射装置では、メイン噴射の前に少量の燃料を噴射するプレ噴射を行いHCの排出を低減している。

【3】 ジーゼル・エンジンの排気ガスに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか**。

[R6.3/R5.3/R3.10/R2.3]

- ☐ 1. 一般にSOF（可溶有機成分）は、燃料中の硫黄分が酸化して生成された硫黄化合物である。
2. 排気管から排出されるNO_xは、燃料が不完全燃焼して、未燃焼ガスがそのまま排出されたものである。
3. ジーゼル・エンジンは、空気過剰率が大きく、空気を十分に供給して燃焼が行われるため、COの発生は極めて少ない。
4. コモンレール式高圧燃料噴射装置では、ポスト噴射の前に少量の燃料を噴射するプレ噴射を行いHCの排出を低減している。

【4】 ジーゼル・エンジンの排出ガスに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか**。

[R4.10/R3.3/H31.3]

- ☐ 1. 排気管から排出されるNO_xは、燃料が完全燃焼して、燃焼ガス温度が高いときに多く発生する。
2. 黒煙とは、燃料中の炭素が分離してすすとして排出されたものであり、高負荷時などで部分的に気化不十分となった燃料粒が、高温の燃焼火炎にさらされたときに発生する。
3. 燃料噴射圧力を高圧化することにより、燃料が微粒化され、周囲の空気や熱とよく触れることで良い燃焼状態となるため、PMの発生が大幅に低減される。
4. 空気過剰率が小さいため、CO及びHCの発生が多く酸化触媒が必要である。

【5】 ジーゼル・エンジンの排出ガスに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか**。[R2.10/H30.10]

- ☐ 1. 排気管から排出されるHCは、燃料が不完全燃焼して、未燃焼ガスがそのまま排出されたものである。
2. ジーゼル・エンジンは、空気過剰率が大きく、空気を十分に供給して燃焼が行われるため、CO₂の発生は極めて少ない。
3. コモンレール式高圧燃料噴射装置では、メイン噴射の前に少量の燃料を噴射するプレ噴射を行いNO_xの排出を低減している。
4. 一般に高負荷時に発生する黒煙は、部分的に気化不十分となった燃料粒が高温の燃焼火炎にさらされて、燃料中の炭素が分離して、黒煙として排出されたものである。

10 エンジン本体 [1]	番号	氏名	問 / 7 問 2D
------------------------	----	----	--

■ [ピストン・リング (異常現象)] ▶ **問解** 第2章 エンジン 1. エンジン本体 **3** ピストン・リング [異常現象]

【1】 ジーゼル・エンジンに用いられているピストン及びピストン・リングに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。** [R7.3/R5.10改]

- ☐ 1. トラックやバスなどの大型車のターボ・チャージャを装着したエンジンでは、アルミニウムを^{ちゅう}鑄造したピストンを用いて耐久性を確保している。
2. ピストン・リングに起こる異常現象のうちスカッフ現象とは、カーボンやスラッジ (燃焼生成物) が固まってリングが動かなくなることをいう。
3. インナ・カット型のピストン・リングは、燃焼ガス圧力が加わるとシリンダ壁面に全面で接触するが、圧力が加わらないときは、シリンダ壁面と線接触して、オイルをかき落とす作用もしている。
4. ピストン・スカート部にグラファイトや二硫化モリブデンなどの固体潤滑剤を含むクロムめっきを施すのは、耐焼き付き性の向上やフリクション低減のためである。

【2】 ジーゼル・エンジンに用いられているピストン及びピストン・リングに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R6.10/R5.3/R3.10]

- ☐ 1. スティック現象とは、カーボンやスラッジ (燃焼生成物) が固まってピストン・リングが動かなくなる異常現象のことをいう。
2. ピストン・スカート部に、グラファイトや二硫化モリブデンなどの固体潤滑剤を含む樹脂コーティングを施すのは、耐焼き付き性の向上やフリクション低減のためである。
3. バレル・フェース型のピストン・リングは、しゅう動面が円弧状になっており、初期なじみの際の異常摩耗が少なく、シリンダ壁面との油膜を一定に保つことで、スカッフ現象を防止する。
4. アルミニウム合金ピストンのうち、高けい素アルミニウム合金ピストンよりシリコンの含有量の多いものをローエックス・ピストンと呼んでいる。

【3】 ジーゼル・エンジンに用いられているピストン及びピストン・リングに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。** [R4.3/R2.10]

- ☐ 1. ピストン頭部は、噴射された燃料が圧縮された高温の空気とよく混合するような形状に作られており、比較的深い凹形のものが多い。
2. ピストン・リングに起こる異常現象のうちスカッフ現象とは、カーボンやスラッジ (燃焼生成物) が固まってリングが動かなくなることをいう。
3. バレル・フェース型のピストン・リングは、しゅう動面が円弧状になっており、初期なじみの際の異常摩耗が少なく、シリンダ壁面との油膜を一定に保つ作用をしている。
4. ピストン・スカート部にグラファイトや二硫化モリブデンなどの固体潤滑剤を含む樹脂コーティングを施すのは、耐焼き付き性の向上やフリクション低減のためである。

【4】 ピストン・リングに起こる異常現象のうち、フラッタ現象に関する次の文章の (イ) と (ロ) に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なものはどれか。** [R6.10/R5.3]

フラッタ現象とは、ピストン・リングがリング溝に密着せずに浮き上がる現象をいい、ピストン・リング幅が (イ) ほど、ピストン・リングの拡張力が (ロ) ほど起こりやすい。

(イ) (ロ)

- ☐ 1. 薄い 小さい
2. 厚い 小さい
3. 薄い 大きい
4. 厚い 大きい

■ [クラッチ] ▶ 問解 第3章 シャシ 1. マニュアル・トランスミッション 1 クラッチ

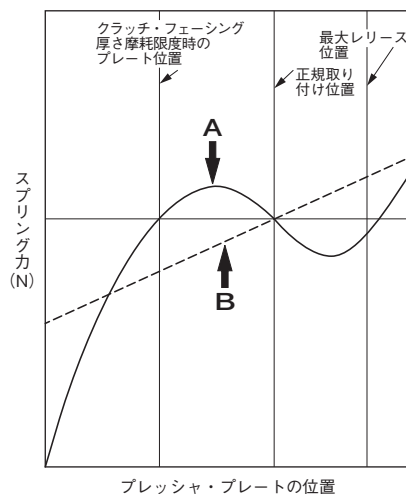
【1】MTのクラッチに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R6.3/R4.10]

- ☐ 1. エンジンの最大トルクが $360\text{N}\cdot\text{m}$ の場合、一般にクラッチの伝達トルク容量は $380\text{N}\cdot\text{m} \sim 390\text{N}\cdot\text{m}$ 程度で余裕のある設定にしている。
2. クラッチ・ディスクは、慣性力ができるだけ大きく、変速ギヤの切り替えが容易であることが要求される。
3. クラッチの伝達トルク容量は、エンジンのトルクに比べて過小であると、クラッチの操作が難しく、接続が急になりがちでエンストしやすい。
4. クラッチ・スプリングのうちダイヤフラム・スプリングは、プレッシャ・プレートに作用するスプリング力が均一で、クラッチ・フェーシングの摩耗によるスプリング力の変化や高速回転時の遠心力によるスプリング力の減少が少ないという特長がある。

【2】図に示すクラッチ・スプリングの特性に関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R3.3/R1.10/H30.3改]

図中の実線Aは(イ)・スプリングの特性を示しており、クラッチ・フェーシングが摩耗限度まで摩耗すると、スプリングのばね力は正規取り付け位置と比較して(ロ)

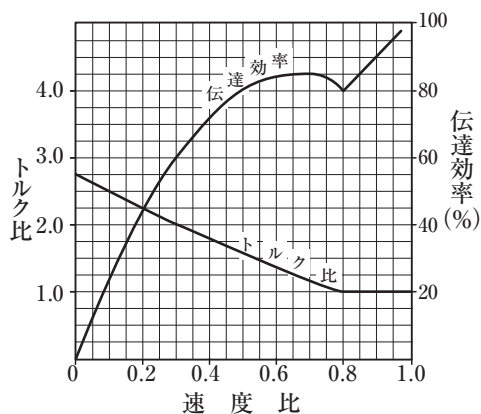
- | | (イ) | (ロ) |
|------------------------------------|----------------|-----|
| ☐ 1. ダイヤフラム | Aは減少してBは同じである。 | |
| 2. ダイヤフラム | Aは同じでBは減少する。 | |
| 3. コイル | Aは減少してBは同じである。 | |
| 4. コイル | Aは同じでBは減少する。 | |



■ [トルク・コンバータ] ▶ 問解 第3章 シャシ 2. オートマティック・トランスミッション 1 トルク・コンバータ

【3】図に示す特性のトルク・コンバータにおいて、ポンプ軸回転速度 $3,600\text{min}^{-1}$ 、ポンプ軸トルク $300\text{N}\cdot\text{m}$ で回転し、タービン軸回転速度が 360min^{-1} で回転しているときの記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R6.10]

- ☐ 1. 速度比は0.1である。
2. トルク比は2.5である。
3. 伝達効率は50%である。
4. タービン軸トルクは $750\text{N}\cdot\text{m}$ である。



【4】図(【3】と同じ)に示す特性のトルク・コンバータにおいて、ポンプ・インペラが回転速度 $3,600\text{min}^{-1}$ 、トルク $60\text{N}\cdot\text{m}$ で回転し、タービン・ランナが $1,080\text{min}^{-1}$ で回転しているときの記述として、適切なものは次のうちどれか。[R5.3]

- ☐ 1. 速度比は0.5である。
2. トルク比は1.5である。
3. 伝達効率は80%である。
4. タービン軸トルクは $120\text{N}\cdot\text{m}$ である。

32 電気装置 [1]	番号	氏名	問／6問 2D
----------------------	----	----	----------------

■ [計器] ▶ 問解 第4章 電気装置 1. 電気一般 2 計器

【1】電気装置に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[H30.3]

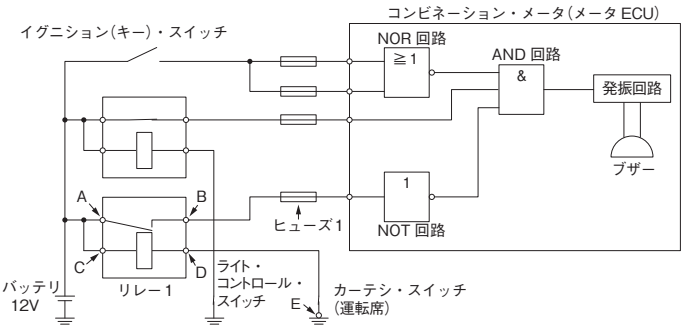
- ☐ 1. アナログ表示のスピードメータの指針駆動部は、指針がより正確に作動するステップ・モータ式が多く用いられている。
2. アナログ表示のフューエル・ゲージは、燃料消費量信号を受信したエンジンECUが算出することで、より正確な燃料の残量表示を行うことができる。
3. ステップ・モータを用いたスピードメータの指針駆動部は、内側には永久磁石製の固定子（ステータ）、外側にはコイルが巻かれた回転子（ロータ）があり、コイルに電流を流して励磁させている。
4. インジケータのポジション・ランプの識別記号は、ISO規格には規定されていない。

■ [警報装置] ▶ 問解 第4章 電気装置 1. 電気一般 3 警報装置

【2】図に示すライト消し忘れ警報装置の不具合要因に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。[R7.3]

図のようにイグニッション（キー）・スイッチがOFF、ライト・コントロール・スイッチがON、カーテシ・スイッチ（運転席）がONの状態ですいめいブザーが吹鳴しないとき、AとE間の電圧が12V、BとE間の電圧が12V、CとE間の電圧が12V、DとE間の電圧が10Vの場合の不具合要因としては、（ ）が考えられる。

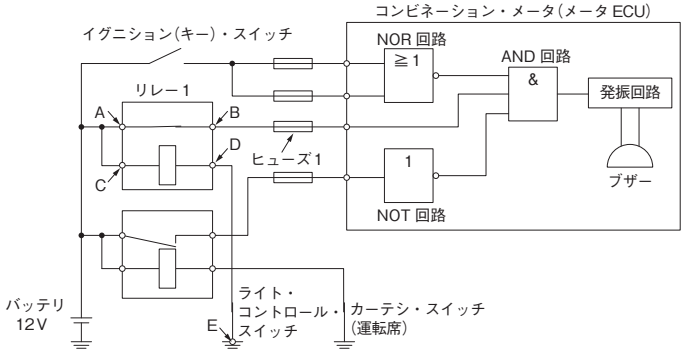
- ☐ 1. リレー1のAとB間の接点不良
2. ヒューズ1の断線
3. リレー1のCとD間のコイル断線
4. カーテシ・スイッチ（運転席）の抵抗増大



【3】図に示すライト消し忘れ警報装置の不具合要因に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。[R6.10]

図のようにイグニッション（キー）・スイッチがOFF、ライト・コントロール・スイッチがON、カーテシ・スイッチ（運転席）がONの状態ですいめいブザーが吹鳴しないとき、AとE間の電圧が12V、BとE間の電圧が0V、CとE間の電圧が12V、DとE間の電圧が0Vの場合の不具合要因としては、（ ）が考えられる。

- ☐ 1. リレー1のAとB間の接触不良
2. ライト・コントロール・スイッチの接点の接触不良
3. ヒューズ1の断線
4. リレー1のDとアース間の短絡



39 法令[1]	番号	氏名	問／10問 2D
-----------------	----	----	-----------------

■ [自動車の種別] ▶ **問解** 第5章 法令 1. 車両法 **1** 自動車の種別

【1】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、長さ4.99m、幅1.69m、高さ1.99mで原動機の総排気量が2.95ℓのジーゼル車の該当する自動車の種別として、**適切なものは次のうちどれか**。[R4.10]

- ☐ 1. 小型自動車
2. 小型特殊自動車
3. 大型自動車
4. 普通自動車

【2】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、長さ4.69m、幅1.69m、高さ1.99mで原動機の総排気量が2.48ℓのジーゼル車の該当する自動車の種別として、**適切なものは次のうちどれか**。

[R6.3/R3.3]

- ☐ 1. 小型自動車
2. 軽自動車
3. 普通自動車
4. 大型自動車

■ [登録制度] ▶ **問解** 第5章 法令 1. 車両法 **2** 登録制度

【3】「道路運送車両法」に照らし、自動車登録ファイルに登録を受けたものでなければ運行の用に供してはならない自動車として、**適切なものは次のうちどれか**。[編集部]

- ☐ 1. 大型特殊自動車
2. 小型特殊自動車
3. 二輪の小型自動車
4. 四輪の軽自動車

【4】「道路運送車両法」に照らし、次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なものはどれか**。[R6.3/R4.10/R3.3/R1.10/H30.3]

新規登録を受けた自動車について所有者の変更があったときは、新所有者は、その事由があった日から（イ）に、国土交通大臣の行う（ロ）の申請をしなければならない。

- | | （イ） | （ロ） |
|-----------------------------|-------|------|
| ☐ 1. | 15日以内 | 移転登録 |
| 2. | 15日以内 | 変更登録 |
| 3. | 30日以内 | 移転登録 |
| 4. | 30日以内 | 変更登録 |

■ [検査制度] ▶ **問解** 第5章 法令 1. 車両法 **3** 検査制度

【5】「道路運送車両法」に照らし、自動車予備検査証に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、**適切なものはどれか**。[R2.10]

自動車予備検査証の有効期間は、（ ）とする。

- ☐ 1. 15日
2. 30日
3. 3月
4. 6月

44 模擬試験 第1回	番号	氏名	問／40問 2D
--------------------	----	----	--

【1】 ジーゼル・エンジンの性能などに用いられている用語に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. ジーゼル・エンジンの空気過剰率は、低速で負荷が小さく噴射量が少ないときは1.2～1.4程度で、負荷が大きくと最大噴射量に達したときは2.5以上である。
2. 正味仕事率とは、エンジンのクランクシャフトから実際に得られる動力をいう。
3. グロス軸出力とは、エンジンの運転に必要な付属装置だけを装着してエンジン試験台で測定した軸出力である。
4. 図示熱効率とは、シリンダ内の作動ガスがピストンに与えた仕事を熱量に換算したものと、供給した熱量との割合をいう。

【2】 ジーゼル・エンジンの排気ガスに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. 一般にSOF（可溶有機成分）は、燃料中の硫黄分が酸化して生成された硫黄化合物である。
2. 排気管から排出されるNO_xは、燃料が不完全燃焼して、未燃焼ガスがそのまま排出されたものである。
3. コモンレール式高圧燃料噴射装置では、ポスト噴射の前に少量の燃料を噴射するプレ噴射を行いHCの排出を低減している。
4. ジーゼル・エンジンは、空気過剰率が大きく、空気を十分に供給して燃焼が行われるため、COの発生は極めて少ない。

【3】 ジーゼル・ノックに関する次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なものはどれか。**

ジーゼル・ノックを防ぐには、噴射始めの燃料噴射量を（イ）したり、（ロ）の自己着火を容易にするための予熱装置を設けるなどの工夫がなされている。

- | | | |
|--|-----|-----|
| | （イ） | （ロ） |
| ☒ 1. | 少なく | 冷間時 |
| 2. | 多く | 高温時 |
| 3. | 少なく | 高温時 |
| 4. | 多く | 冷間時 |

【4】 ピストン・リングに起こる異常現象に関する次の文章の（イ）から（ハ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なものはどれか。**

フラッタ現象とは、ピストン・リングがリング溝に密着せずに浮き上がる現象をいい、ピストン・リングの拡張力が（イ）ほど、ピストン速度が（ロ）ほど起こりやすい。また、この現象を防止するためには、リング幅を（ハ）して面圧を増す必要がある。

- | | | | |
|--|-----|-----|-----|
| | （イ） | （ロ） | （ハ） |
| ☒ 1. | 小さい | 遅い | 広く |
| 2. | 小さい | 速い | 狭く |
| 3. | 大きい | 遅い | 広く |
| 4. | 大きい | 速い | 狭く |

【5】 エンジンのバルブ開閉機構に用いられているバルブ・スプリングに関する次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なものはどれか。**

不等ピッチ・バルブ・スプリングは、質量の（イ）ピッチの（ロ）方をシリンダ・ヘッド側に向けて組み付ける。

- | | | |
|--|-----|-----|
| | （イ） | （ロ） |
| ☒ 1. | 大きい | 広い |
| 2. | 大きい | 狭い |
| 3. | 小さい | 広い |
| 4. | 小さい | 狭い |

2 D 正解一覧

1 基礎工学 [1]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】
3	4	3	4	3	3

2 基礎工学 [2]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】
3	3	3	2	1	1	2	4

3 基礎工学 [3]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】
2	3	1	3	1	3	1	4	2

4 基礎工学 [4]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】
1	3	1	3	2	2

5 基礎工学 [5]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】
4	3	4	3	4

6 基礎工学 [6]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】
4	2	2	1	2	1	4	4	1	4

7 基礎工学 [7]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】
2	2	3	4	3	2	2	3

8 総論 [1]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】
1	1	3	4	2	3	3	2

9 総論 [2]

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】
1	4	4	3	3	4

本書に関する訂正とお問い合わせについて

書籍の訂正について

株式会社公論出版 ホームページ
書籍サポート/訂正
URL : https://kouronpub.com/book_correction.html



本書の内容で分からないことがありましたら、必要事項を明記の上、お問い合わせフォームより、メールにて下記までお問い合わせください。

本書籍に関するお問い合わせ

メール


お問い合わせフォーム



必要事項

- ・お客様の氏名とフリガナ
- ・書籍名
- ・該当ページ数
- ・お問い合わせ内容

※電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。

※回答まで時間がかかる場合があります。ご了承ください。

※必要事項の記載がない場合、お問い合わせにお答えできませんのでご注意ください。

※キャリアメールをご使用の場合、下記メールアドレスの受信設定を行ってからご連絡ください。

お問い合わせメールアドレス inquiry@kouronpub.com

※お問い合わせは、本書の内容に限ります。

※お問い合わせの有効期限は、本書の発行日から1年間とさせていただきます。

本書の記載内容は、著作物として著作権法によって保護されています。

本書の全部又は一部について、無断で、コピー等を行うことは禁じられており、著作権の侵害となります。

令和7年版 自動車整備士 2級ジーゼル 練習問題集

定価 1540 円 (税込)

■発行日 令和7年 7月 初版

■発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8
TEL : 03-3837-5731
HP : <https://www.kouronpub.com>